

自律型無人探査機(AUV)利用実証事業の公募結果のお知らせ

内閣府総合海洋政策推進事務局

1. 事業の概要

自律型無人探査機(AUV)は、今後の海域利用における省人化や海中の可視化に資する有望な技術であり、政府は AUV の国産化・産業化を実現するべく、社会実装に向けた戦略(2023 年 12 月総合海洋政策本部決定)をとりまとめ、海洋開発等重点戦略(2024 年 4 月総合海洋政策本部決定)とその別紙としての工程表を作成し、その推進を図っているところです。

本事業は、こうした方針に沿って AUV の利活用が期待される場面での実証試験を実施することで、社会実装に向けた制度環境の整備や、より実用的な製品の開発等につなげることを目的とするものです。今回実施する利用実証試験では、AUV 関連産業の発展の道筋を明らかにすることに焦点を当て、実証試験と AUV 官民プラットフォームの活動を連動させることにより、AUV の社会実装に向けた取組をより効果的・効率的に推進することを目指すものです。

2. 公募結果

本募集においては、以下に示す2つのカテゴリーの実証試験の目標を対象として提案を募集し、審査委員による審査を経て、10件の応募から3件を選定しました。

洋上風力発電施設の維持管理モデル構築

洋上風力発電施設の維持管理における AUV の効果的・効率的な運用の形態・方法、必要とされる機能・性能、社会実装に向けた技術開発や課題解決等のステップを明らかにすることを目指すもの。

その他利用用途ビジネスモデル構築

上記以外での AUV の利用用途において、実現可能なビジネスモデルを導出することを目指すもの。

| 名称 | 代表実施者 |
|--|-------------------|
| AUVを活用した浮体式洋上風力発電施設の予防保全システム構築のための実証試験 | いであ株式会社 |
| 自律型海洋無人機・無人潜水機を用いた利用実証事業 | 東洋エンジニアリング株式会社 |
| 港から発進して海底をマッピングするAUVと港から発進して目標物を精査するAUV調査の実証試験 | 国立大学法人東京大学生産技術研究所 |